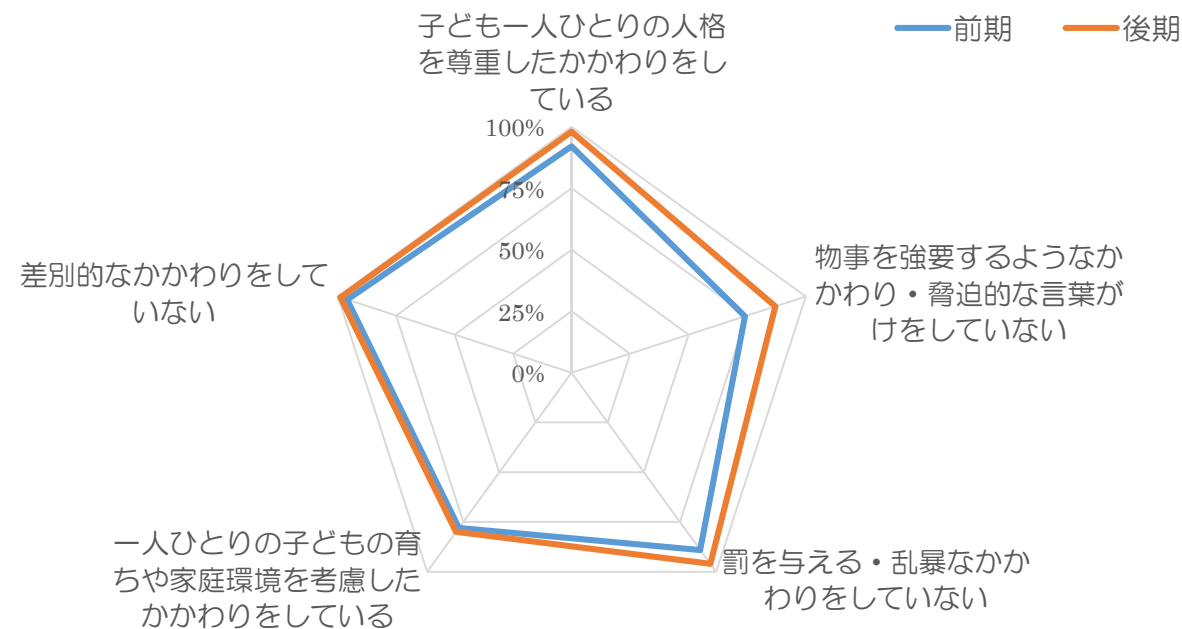
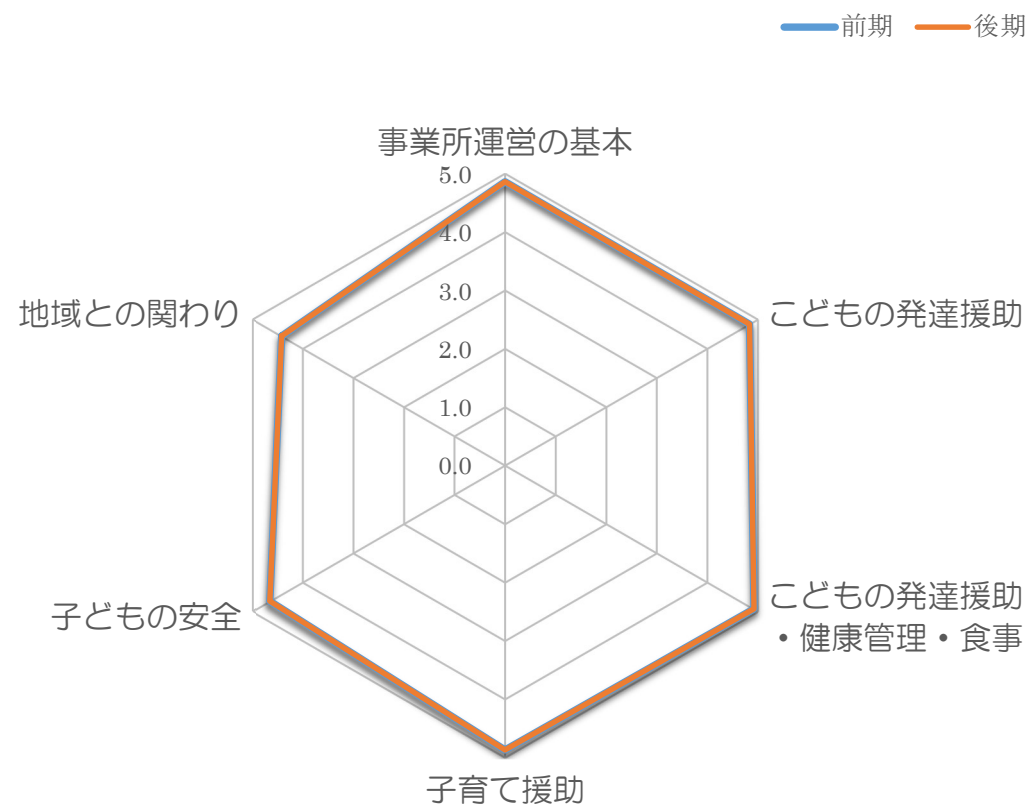


聖マルコ保育園 令和6年度 自己評価

職員自己評価



園評価



総 評

保育内容・方法

● 園内研修

「チーム向上と遊びの質をめざす」ことにねらいをおき、チームに分かれ、遊びを体験し、遊びの展開、面白さを分かち合い保育に取り入れていくことが出来た。またクリスマスページェント（聖誕劇）に向けて、咸園長よりアドベントやクリスマスの由来の話を聞くことで、クリスマスに向けて職員間で共通理解をもって準備に取り組むことが出来た。

● 職員の連携

新規採用の職員を5名迎えたことや時差出勤や短時間勤務、様々な就労形態の職員がいることにより、情報を共有することが難しいこともあったが、職員会議の他に、各クラスでのミーティングを細かく設け、保育の振り返りや子ども理解を図っていった。また、去年に引き続き、職員が自分で確認しやすいように、職員の立ち位置や、各クラスの活動内容、出勤時間などホワイトボードを使って伝達したことで、連携が取りやすくなった。

● 発達支援保育

発達支援担当リーダーを中心に、豊見城市公認心理師の指導、助言を受けながら、発達支援保育を進めていった。また、園児の療育支援を通して、保護者、保育園、療育支援、相談員とのモニタリングで情報交換を行い、支援の方法を模索しながら、園全体で園児一人ひとりの関わりについて考えることが出来た。専門機関との連携による、発達支援保育の対応、保護者への対応を考えていくことにもつながっている。保護者との連携を図ることで、個別の対応が必要な園児に対して、申請へと繋げることが出来たと感じた。

地域の住民や関係機関等との連携

● 子育て支援

- ・小学校教育との接続、連携を円滑に進めるため、豊見城市公認心理師による巡回相談を行い、園、保護者で子どもたちの育ちを支えることが出来た。
- ・保育サポーター制度では、卒園児による絵本の読み聞かせ、小学校生活についての話、環境整備、保護者による絵本の読み聞かせ、職業紹介など様々な交流を行うことが出来た。
- ・思春期保健相談士の徳永桂子先生による「性教育について」の講演会では、職員、保護者、子どもたちで性教育についての学びをもつことが出来た。

● 地域との関わり

- ・地域の保幼小との情報交換を密に行い、連携の取れる体勢を築いていった。（長嶺小学校、とよみ小学校新一年生の授業参観、聖マタイ幼稚園との園児交流）また、地域のニュータウン秋祭りに参加し、4,5歳児が地域の方々や保護者に向けて、お遊戯を披露したり、交流する場を設けることが出来た。今後も地域の子育てニーズに応えられるよう積極的に支援を行っていきたい。

評価年月日 令和7年3月28日

評価職員 20名

社会福祉法人 聖公会沖縄福祉会

聖マルコ保育園

園長 咸允淑